

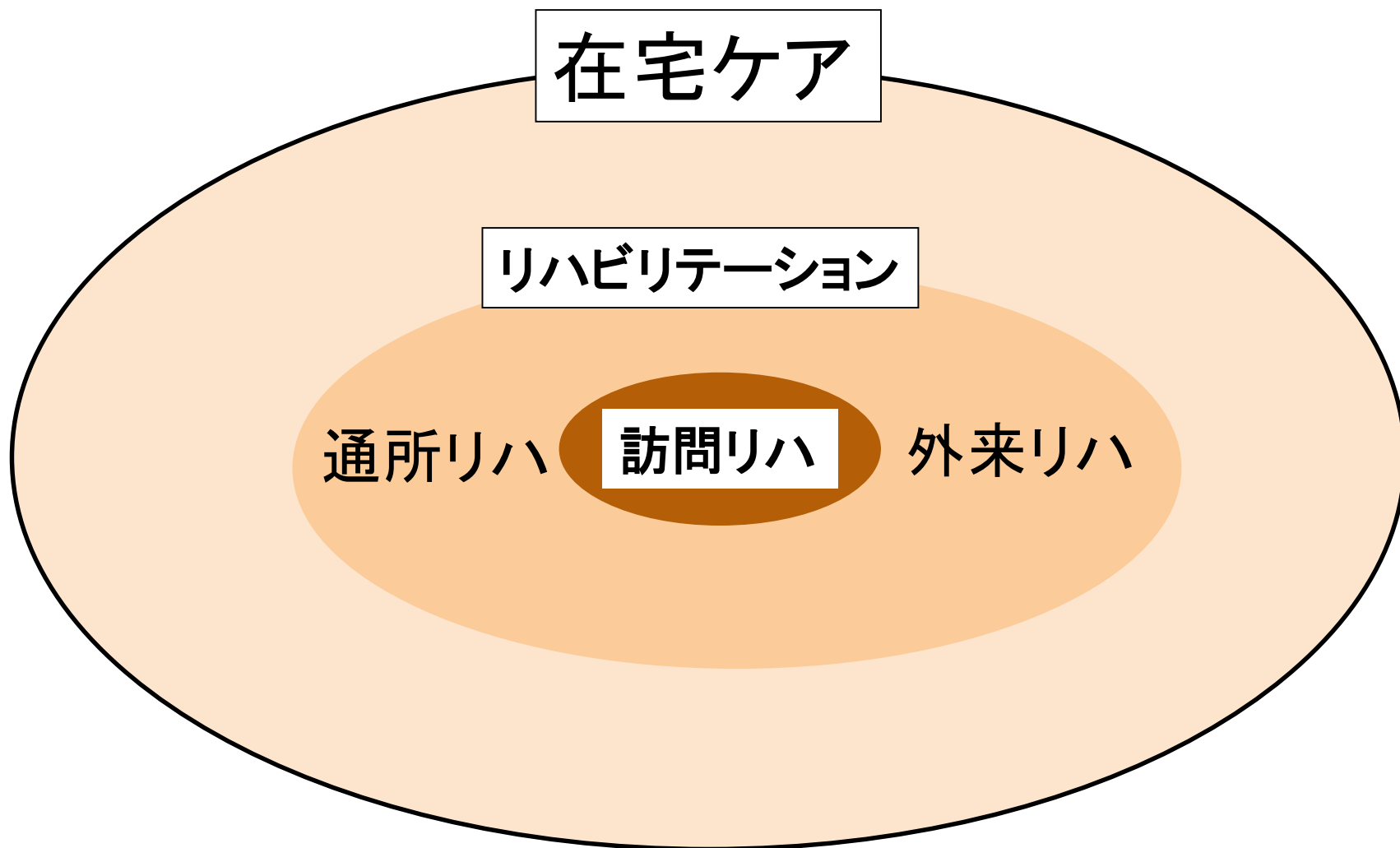
在宅ケアを考える集い IN越後2012

在宅ケアにリハスタッフは何ができるのか.

ゆきよしクリニック
ゆきよし訪問看護ステーション

理学療法士
三村 健

訪問リハビリテーションの位置づけ



“訪問リハ”と，“訪問看護”

	介護保険		医療保険	
制度上の位置づけ	訪問リハビリテーション費	訪問看護 I 5 (旧訪問看護7)	在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料	訪問看護基本療養費
対象者	介護保険利用者		介護保険非対象者 厚労省の定める疾患(難病等)	
主治医から指示医への情報提供	要(3ヶ月毎)	不要 (1~6か月毎の主治医からの直接指示)	要(1ヶ月毎)	不要 (1~6か月毎の主治医からの直接指示)
指示医の診察	要(3ヶ月毎)	不要	要(1ヶ月毎)	要(1ヶ月毎)

※リハビリテーション(理学療法・作業療法・言語聴覚療法)は、PT, OT, STによる業務独占ではないので、他職種がリハビリテーションを行うことは法的には問題ない。

※ここでは、すべてを総称して、“訪問リハ”と呼称。

疾患による分類

脳血管障害

神経難病

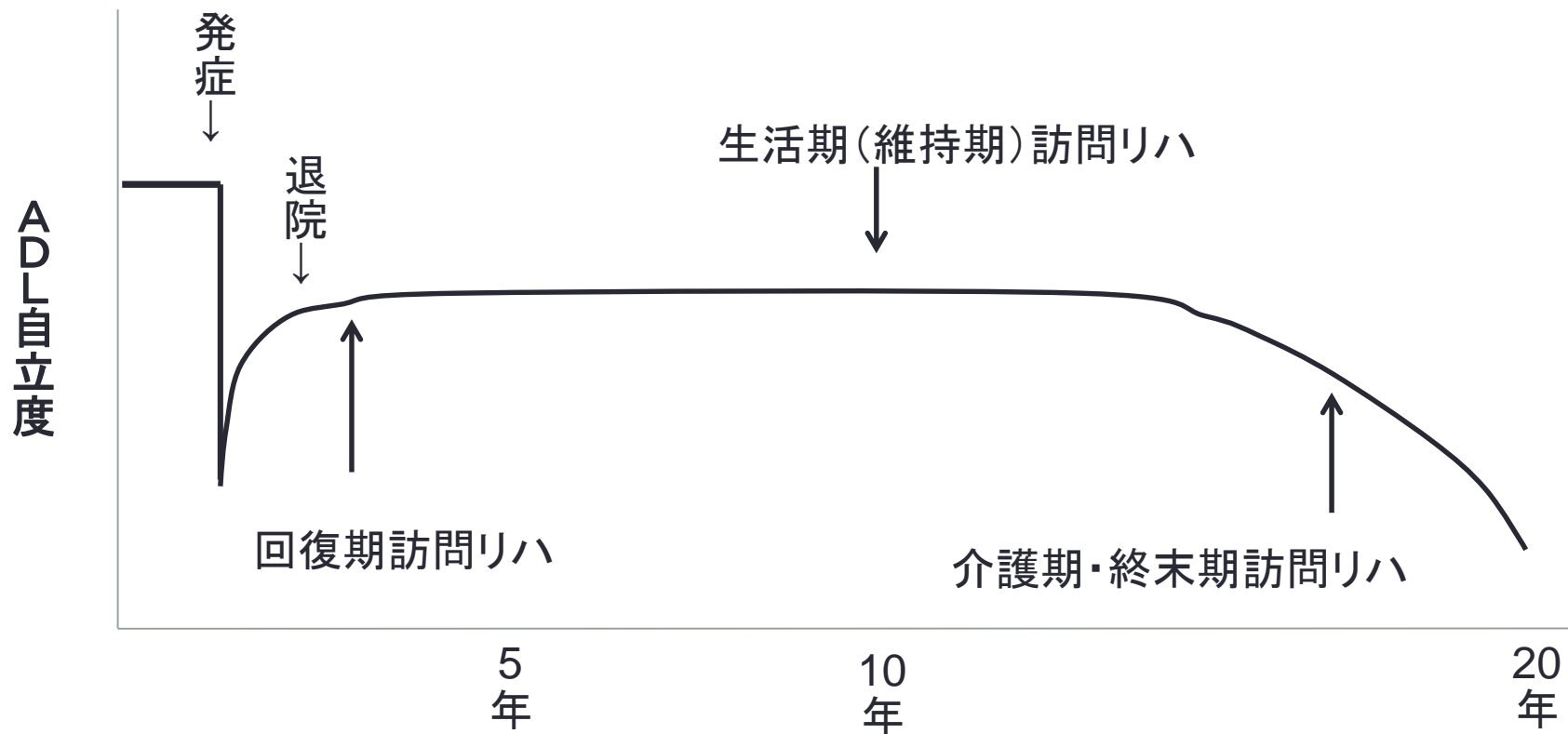
終末期リハ

大腿骨近位部骨折
整形疾患

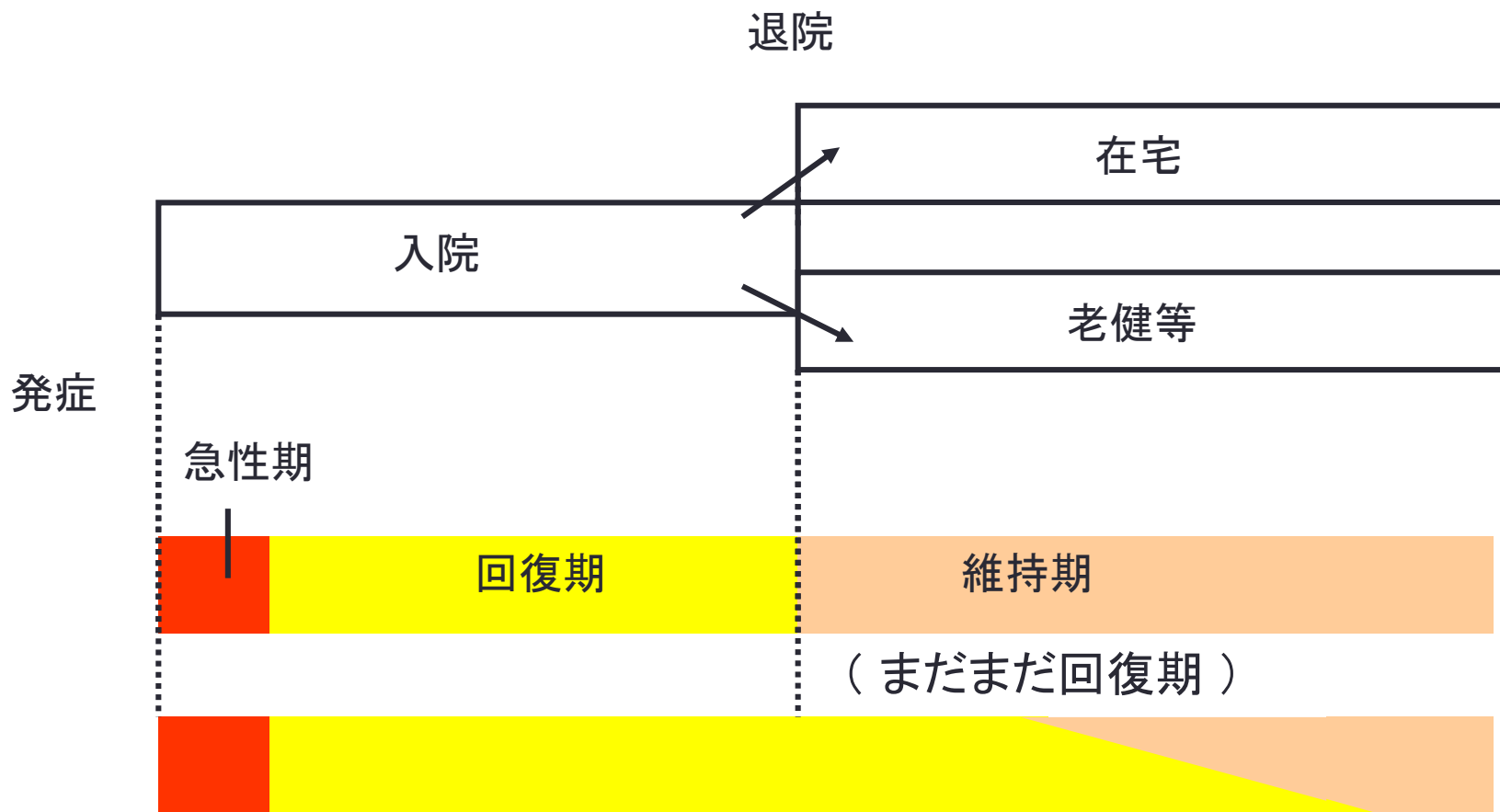
認知症

小児

脳血管障害の訪問リハ



発症からの経過



退院後の歩行の改善

車いすによる移動

⇒

手すりによる段差昇降

⇒

四点杖による昇降



2007年5月(退院時,
発症より6ヶ月経過)



同年10月
(発症より10ヶ月経過)



2011年5月
(発症より4年経過)

医療・福祉関係者側の先入観

維持期

.....
「それ以上の回復・改善は期待できないだろう」



生活期

「毎日の生活の中で、まだ改善する部分があるんじゃないか？」

.....
(逆に)

「入院中に歩けていたのに、なぜ、退院後、歩けなくなったのか？」

家族が介助を行ってくれないと...

I



セラピストによる
歩行の練習

II



歩行の練習と
“介助の練習”

III



家族による
介助歩行

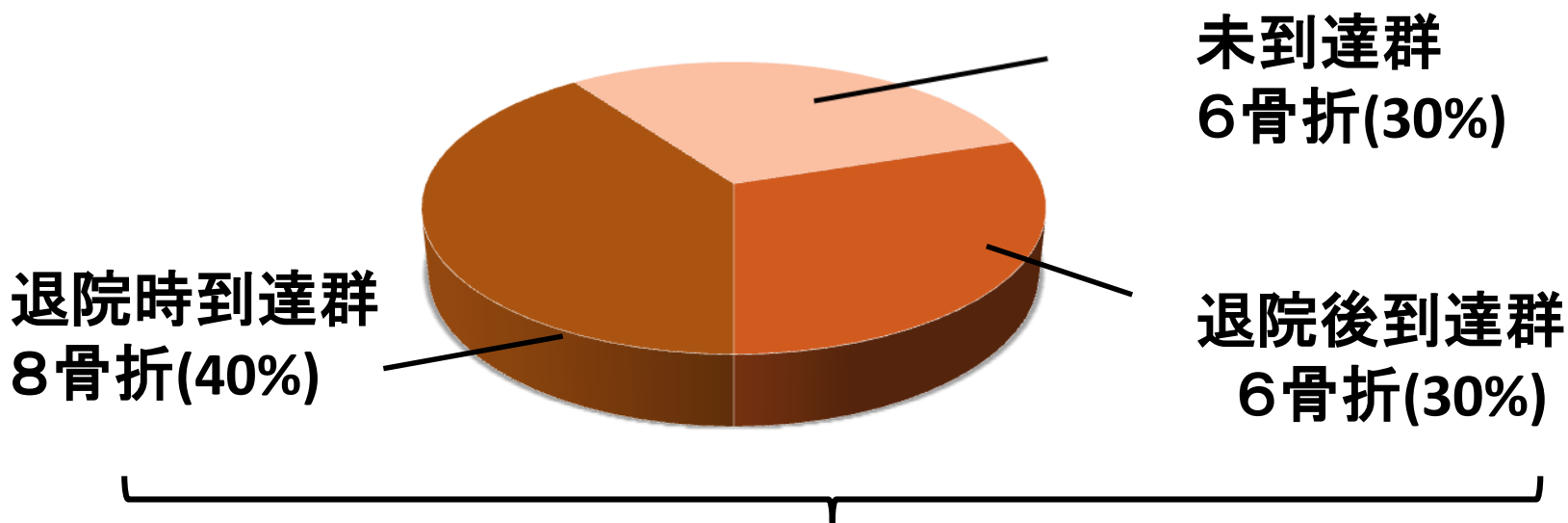
大腿骨近位部骨折の歩行機能

どのような経過をたどったかにより、下記の4群に分類

退院時到達群・・・退院時に、受傷前の自立度に至った群

退院後到達群・・・退院時には、受傷前の自立度に至らなかったが、退院後に到達した群

未到達群・・・退院時に受傷前の自立度に至らず、その後も、受傷前の自立度には至らなかった群



退院時、退院後、合わせて**70%**は、受傷前の自立度に至った。

“リハビリ”という言葉が
様々な意味で使われていて、混乱しています。

- ・(主に“改善“を意図した)機能訓練
- ・ADL, QOL
- ・物理療法
- ・マッサージ

改善

re+habilis(ラテン語)

“再び“、“適した状態にする⇒”失ったものを取りもどす“

右肩上がり

維持的リハビリ？ 予防的リハビリ？ 在宅ケア？

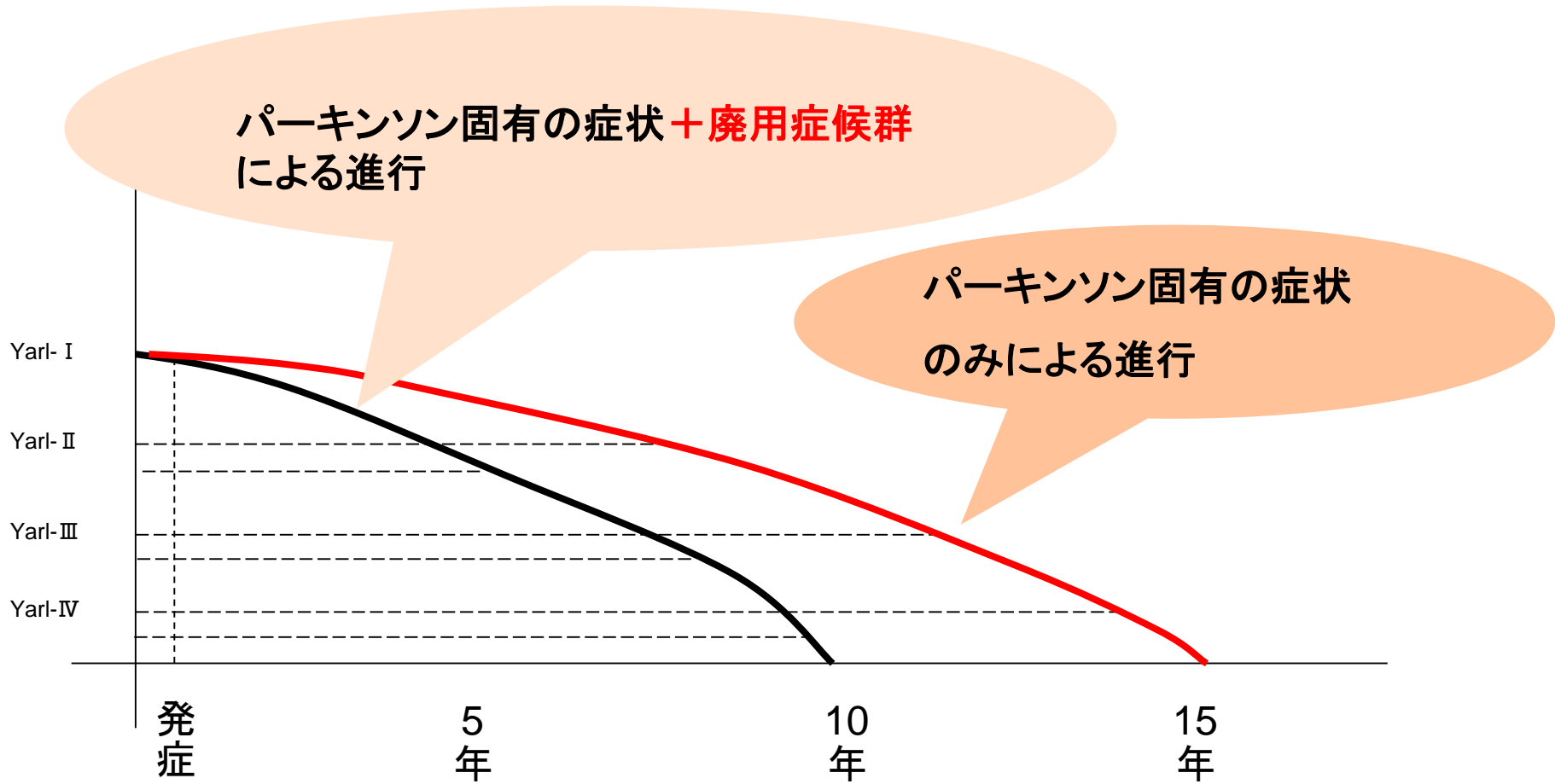
神経難病

- 筋萎縮性側索硬化症 (ALS),
- パーキンソン関連疾患
- 脊髄小脳変性症 (SCD), 多系統萎縮症
- 球脊髄性筋萎縮症

目的とポイント

- ・疾患そのものの進行を遅延させることはリハビリでは困難。疾患に伴う廃用症候群の発生, 進行を予防する。

訪問リハ介入による廃用症候群の予防



小児

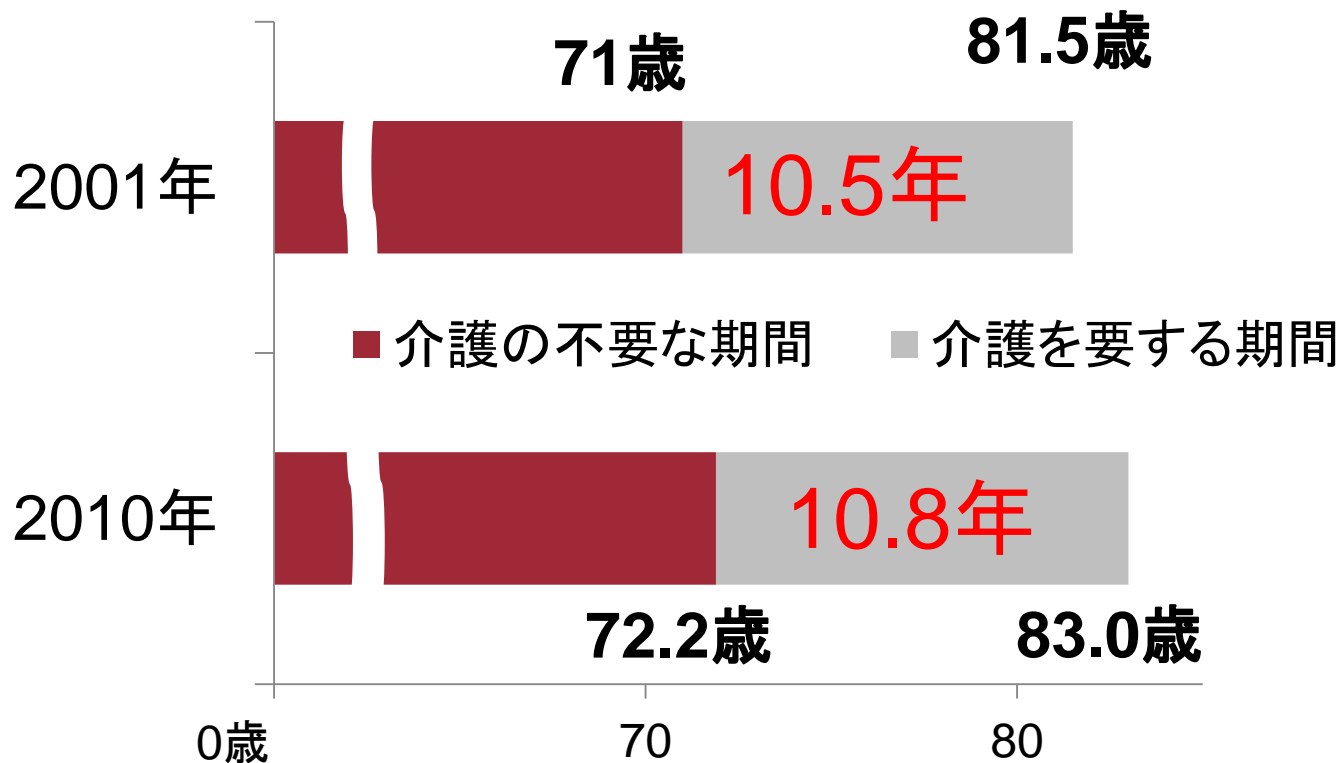
- ・脳性まひ
- ・筋ジストロフィ
- ・ペルテス病
- ・二分脊椎
- ・精神運動発達遅滞
- ・脊髄性筋委縮症
- ・他

目的とポイント

- ・就学
- ・進路
- ・体育, 部活への参加

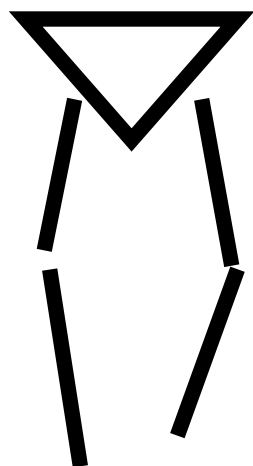
両親, 学校との関わり
担当者会議への参加

平均寿命，健康寿命の伸びと， 死亡するまでの間に介護を要する期間

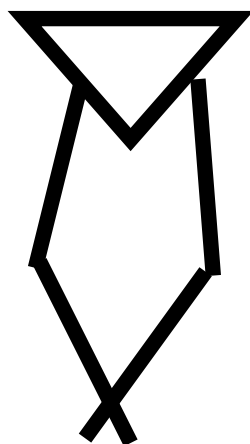


2001年から2010年の9年間で，健康寿命は1.2歳伸びたが，一方，平均寿命も1.5歳伸び，差し引き，要介護の期間が約3ヶ月伸びてしまった。

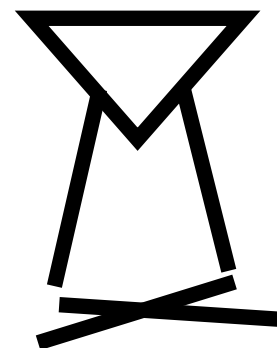
膝屈曲拘縮の進行



H11



H16



H22

再び, "re-habilis"

- 意識的にアプローチしないと、失われてしまう、
“人としての当たり前前の活動”を可能な限り保障する。

自分の家で暮らし続けたい

自分で行きたいところに, 行きたいときに, 行きたい

食べたいものを口から食べたい

人と話がしたい

外に出かけたい, 旅行がしたい

家族のために, 家事がしたい

**訪問リハに関わる理学療法士, 作業療法士, 言語聴覚士の
絶対的不足!!**